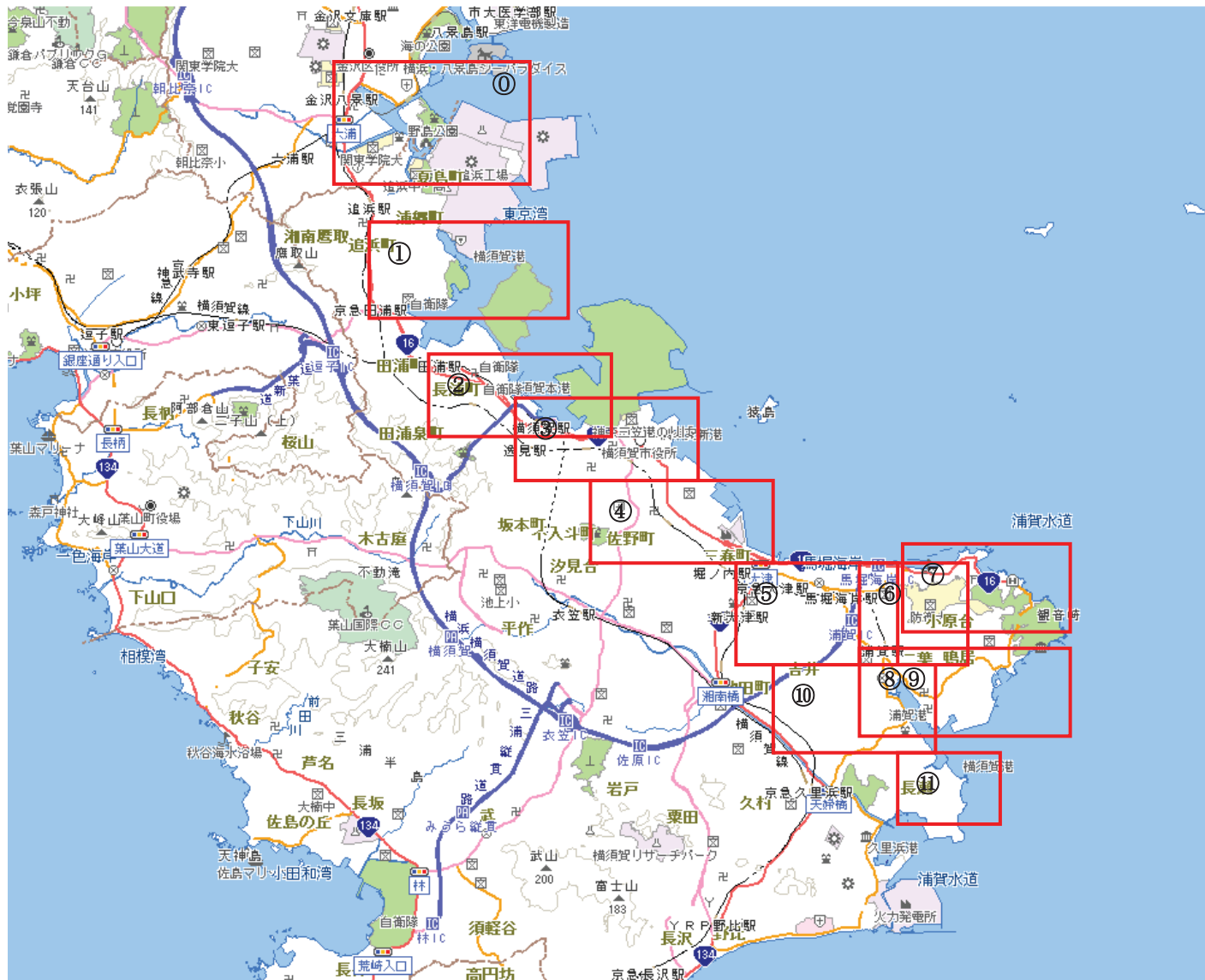


横須賀「海と船が見える坂道」マップ番号対照図

横須賀「海と船が見える坂道」マップは横須賀北部から順次策定している。

各マップの坂道はその特徴から以下の通りに分類できる。

- ・分類1 ①-④ ⑦ 主に幕末以降の横須賀の産業・軍都発展に伴う人口増による坂道。
- ・分類2 ⑤-⑥ ⑧-⑩ ⑪ 主に戦後の台地上の住宅地開発による坂道。
- ・分類3 ⑦ 主に近世における集落内及び東京湾要塞群の坂道。



横須賀「海と船が見える坂道」マップを作成するに当たり「横須賀我が町ガイドー標高マップ」を利用しています。

横須賀 「海と船が見える坂道」マップ⑤ (大津－馬堀海岸)

－浦賀道に沿って－H26.7作成 吉田

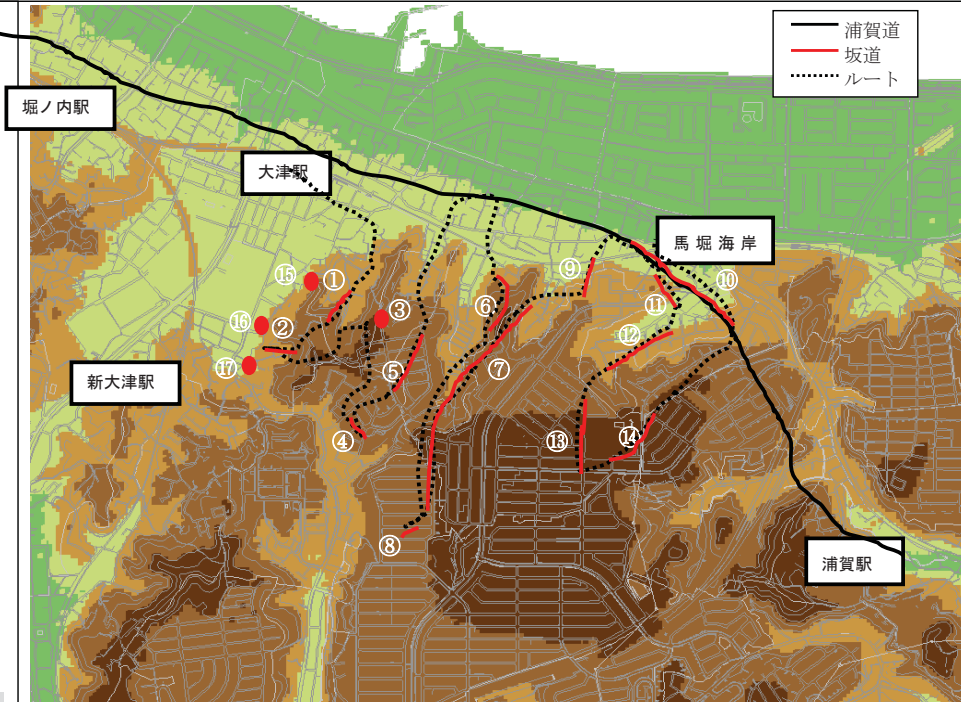
(浦賀道) に沿って

- ① 大津町2の坂(43-17)
- ② 大津町3の坂(53-47)
- ③ 池田町1の展望台(40)
- ④ 馬堀町1の坂(51-38)
- ⑤ 馬堀町1の坂(38-19)
- ⑥ 桜ヶ丘1の坂(35-9)
- ⑦ 桜ヶ丘1の大坂(60-20)
- ⑧ 安房口神社の坂(60-50)
- ⑨ 馬堀町2の坂(20-5)
- ⑩ 矢ノ津坂(30-5)
- ⑪ 桜ヶ丘2の坂(8-3)
- ⑫ 桜ヶ丘2の坂(45-15)
- ⑬ 桜ヶ丘2の坂(55-45)
- ⑭ 桜ヶ丘2の坂(55-40)
- ⑮ 信楽寺
- ⑯ 信誠寺
- ⑰ 諏訪神社

赤字；海と船が見える坂道

()；坂上と坂下の標高

；坂道風土記掲載の坂



横須賀東部は、横須賀北部が谷戸が発達しているのと比較し、東京湾側は谷戸が発達していません。もっぱら台地との間に崖が発達しています。戦前には東京湾要塞の砲台、戦後は住宅及び教育施設として開発が進んでいます。海岸・丘間に坂道が発達しています。一方で、南側に向かっては、浦賀では深く入り込んだ浦賀湾が発達し、平作川流域では谷戸が発達しています。今回は、主に台地上の住宅地への接続坂道となっていて、東京湾と船がよく見えます。

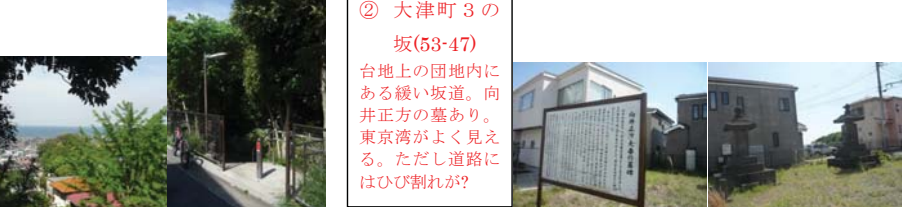
スタート
京急大津駅
京急本線の駅。宿守荷荷がとなりにある。



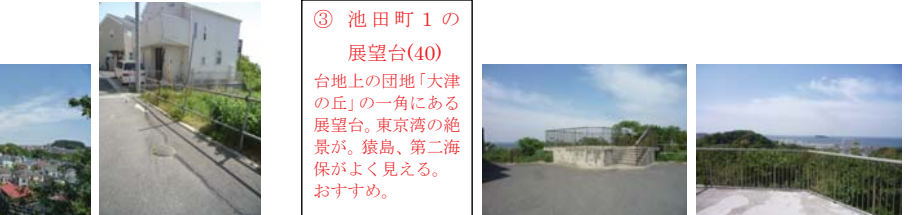
① 大津町2の坂(43-17)
台地上の住宅地と駅を結ぶルート。ふりかえると東京湾が見えます。階段、手すりあり。地元の方々に使われている。途中



② 大津町3の坂(53-47)
台地上の団地にある緩い坂道。向井正方の墓あり。東京湾がよく見える。ただし道路にはひび割れが？



③ 池田町1の展望台(40)
台地上の団地「大津の丘」の一角にある展望台。東京湾の絶景が、猿島、第二海保がよく見える。おすすめ。



④ 馬堀町1の坂(51-38)
「大津の丘」団地と池田町の団地を結ぶ坂道。林の中の階段。木々の間からかすかに海が見える。



⑤ 馬堀町1の坂(38-19)
「大津が丘」団地と馬堀を結ぶ坂道。大きな谷の道で昔からの道だろう。市営住宅もあり、海もよく見える。おすすめ。





⑥ 桜ヶ丘1の坂(35-9)

桜が丘の団地に登る人道の坂道。自転車もひけるように階段の端には斜路が。海もよく見える。おすすめ。



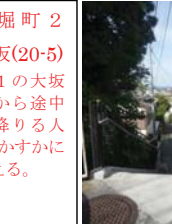
⑦ 桜ヶ丘1の大坂(60-20)

桜が丘団地内の道路でかつ海に直角の坂道。海に向かっていく坂道。超おすすめ。



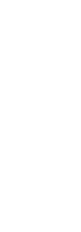
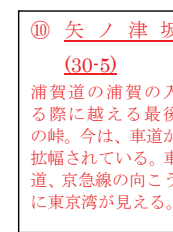
⑧ 安房口神社の坂(60-50)

むかしからある神社に団地内から登る坂道。東京湾、猿島がよく見える。こもおすすめ。



⑨ 馬堀町2の坂(20-5)

⑦桜ヶ丘1の大坂の坂道から途中崖下に降りる人道坂道。かすかに海がみえる。



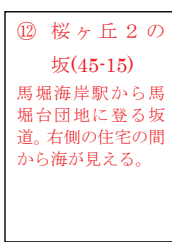
⑩ 矢ノ津坂(30-5)

浦賀道の浦賀の入る際に越える最後の峠。今は、車道が拡幅されている。車道、京急線の向こうに東京湾が見える。



⑪ 桜ヶ丘2の坂(8-3)

矢の津坂から途中右側にまっすぐ続く坂道。気になっていた坂道。坂上からと東京湾が見える。短い、おすすめ。



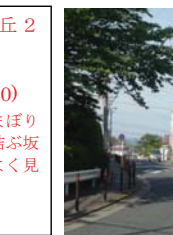
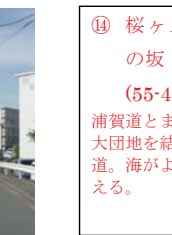
⑫ 桜ヶ丘2の坂(45-15)

馬堀海岸駅から馬堀台団地に登る坂道。右側の住宅の間から海が見える。



⑬ 桜ヶ丘2の坂(55-45)

⑫の坂道から続く坂道。坂道を登りきると左側に馬堀台団地、右側は望洋台小学校。名前の通り海が見える。



⑭ 桜ヶ丘2の坂(55-40)

浦賀道とまぼり大団地を結ぶ坂道。海がよく見える。



ゴール
馬堀海岸駅
ゴールは意外と商店が多い。



⑮ 信楽寺
しんぎょうじ。坂本竜馬の妻「おりょう」の墓碑あり。



⑯ 信誠寺
しんじょうじ。



⑯ 諏訪神社
大津村の総鎮守。結構立派。白色の藤棚もきれい。



横須賀 「海と船が見える坂道」マップ⑥ (馬堀海岸ー浦賀)

-浦賀道に沿って- H26.7 作成 吉田

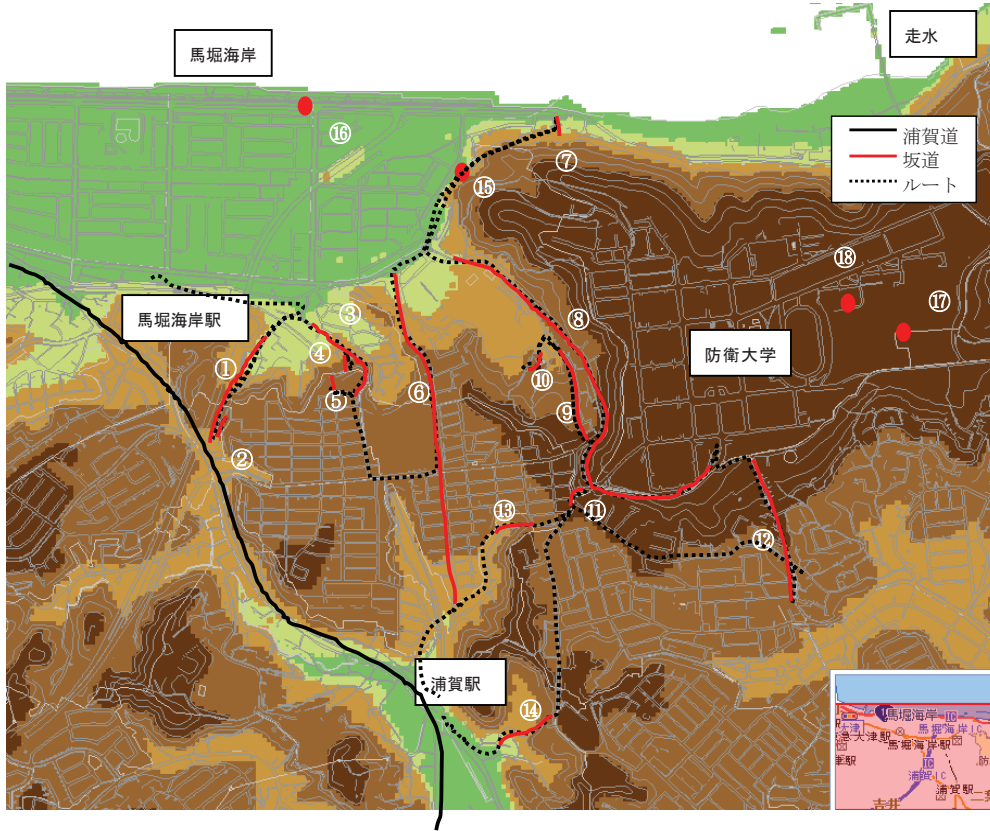
(浦賀道) に沿って

- ① 馬堀町3の坂(27-10)
- ② 浦賀1の坂(37-25)
- ③ 馬堀町3の坂(37-7)
- ④ 馬堀町3の坂(28-15)
- ⑤ 浦上台1の坂(42-37)
- ⑥ 馬堀町4の坂(42-4)
- ⑦ 走水1の坂(8-3)
- ⑧ 防大の坂(84-53-4)
- ⑨ 馬堀町4の坂(58-12)
- ⑩ 自然教育園の坂(51-24)
稜威(みいず)神社
- ⑪ 馬堀町4の坂(72-56)
- ⑫ 二葉2の坂(74-30)
- ⑬ 浦賀1の坂(45-15)
- ⑭ 東浦賀1の坂(51-2)
- ⑮ 走水トンネル
- ⑯ 馬堀海岸

赤字：海と船が見える坂道

()：坂上と坂下の標高

；坂道風土記掲載の坂



横須賀東部は、横須賀北部が谷戸が発達しているのと比較し、東京湾側は谷戸が発達していません。もっぱら台地との間に崖が発達しています。戦前には東京湾要塞の砲台、戦後は住宅及び教育施設として開発が進んでいます。海岸と丘の間に坂道が発達しています。一方で、南側に向かっては、浦賀では深く入り込んだ浦賀湾が発達し、平作川流域では谷戸が発達しています。今回は東京湾側の海蝕崖の坂道及び浦賀湾奥の坂道を紹介し、戦前の放題戦後の防衛大学及び台地の住宅開発により出来た坂道で、海がよく見えます。

スタート
馬堀海岸駅
観音崎への拠点。意外と商店が多い。



① 馬堀町3の坂(27-10)
浦賀道につながる坂道。坂上から東京湾が見える。近くを横浜横須賀道路が走る。近くには東京湾要塞の標識石も。



② 浦賀1の坂(37-25)
①の坂道から浦上台に登る坂道。



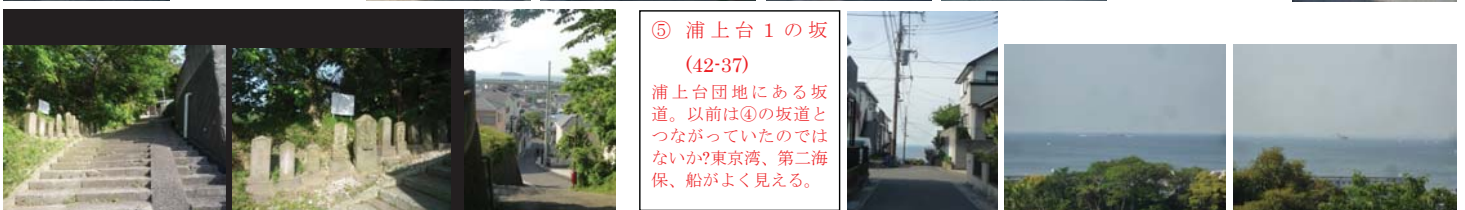
③ 馬堀町3の坂(37-7)
馬堀海岸駅から浦上台団地に登る坂道。浦賀にもぬけられる。かなり急。東京湾がよく見える。おすすめ。



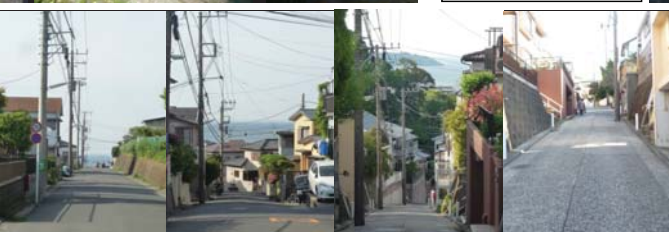
④ 馬堀町3の坂(28-15)
②の坂道より左に分かれる階段。左側には庚申塔が。振り向くと真っ直ぐ海が。おすすめ。



⑤ 浦上台1の坂(42-37)
浦上台団地にある坂道。以前は④の坂道とつながっていたのではないか?東京湾、第二海保、船がよく見える。



⑥ 馬堀町4の坂(42-4)
浦上台団地と崖下のまぼり小学校を結ぶ坂道。狭い車道ととても急。坂上及び坂の途中から見る東京湾、船は格別。超おすすめ。



⑦ 走水1の坂(8-3)
走る水水道トンネルの走水川にある小さい坂道。海が目の前に。



⑧ 防大の坂
(84-53-4)

今回の坂道の中では一般車道ながら「海と船が見える坂道」としてはお勧めの坂。防衛大学に続く長い坂であるが海がよく見える。視界も広い。超おすすめ。



⑨ 馬堀町4の坂
(58-12)

⑧坂道の途中にあり、馬堀自然教育園、馬堀小中を結ぶ坂道。⑧の坂の旧道か？最後の急な階段は最高。おすすめ。



⑩ 自然教育園の坂(51-24)

馬堀自然教育園の中の坂道。もともとは、陸軍砲兵学校。弾薬倉庫が現在も残る。稜威(みいず)神社跡が残る。



⑪ 馬堀町4の坂(72-56)

⑧の防大坂から、浦賀に向かう時に水道タンクの近くにある階段。防大制は浦賀駅に向かう時に近道として使っている模様。



⑫ 二葉2の坂
(74-30)

防大から小原台、鴨居に向かう一直線の坂道。ゆうに300mあり。向こうには久里浜方面が見える。天気良ければ海も彼方に見える。楽しい坂道。近くに唐申塔あり



⑬ 浦賀1の坂
(45-15)

浦上台から浦賀駅に向かう坂道。階段で一気に30メートル降りる。足がすくんで怖い階段。でも住民防大生は利用。



⑭ 東浦賀1の坂
(51-2)

浦上台から住友重機械のグラウンドを経て旧造船所に向かう階段。真っ直ぐな階段。むかしは造船所従業員がこの階段で通勤したのだろう。



ゴール

浦賀駅
⑬の坂道から浦賀駅のガード下をくぐって浦賀駅に。



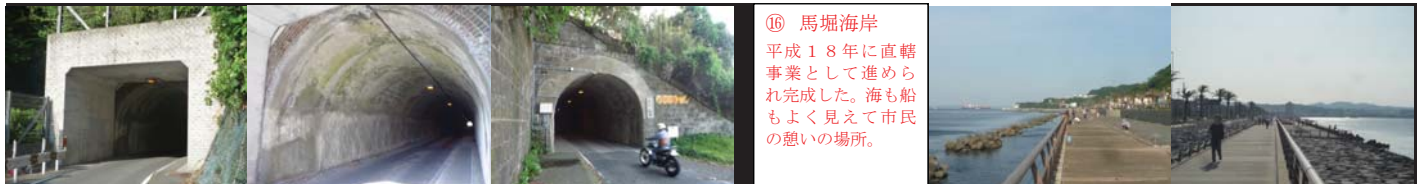
⑮ 走水トンネル

もともとは海軍水道トンネルとして明治15年、16年に作られる。もともとは320メートル1本のトンネル。レンガはフランス積み。



⑯ 馬堀海岸

平成18年に直轄事業として進められ完成した。海も船もよく見えて市民の憩いの場所。



横須賀 「海と船が見える坂道」マップ⑦ (馬堀海岸－観音崎)

-浦賀道に沿って- H26.7 作成 吉田

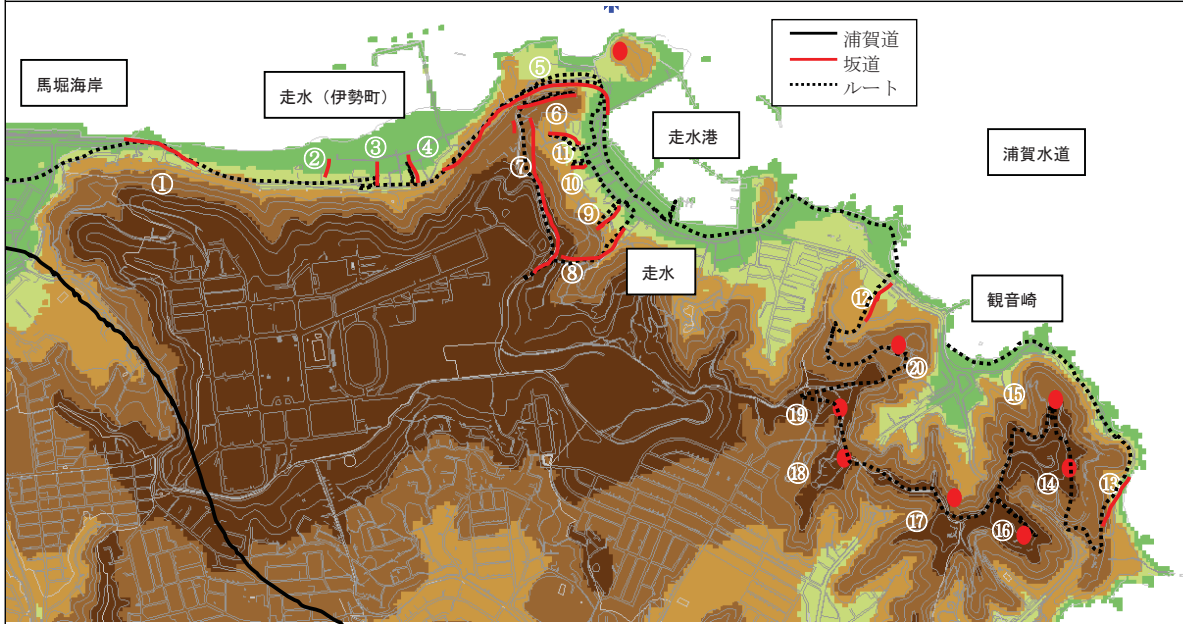
(浦賀道)に沿って

- ① 走水1 国道の坂(11-3)
- ② 走水駐車場の坂(8-2)
- ③ 走水1の坂(8-2)
- ④ 走水1 路地の坂(9-2)
- ⑤ 走水2 国道の坂(20-2)
- ⑥ 走水2 走水荘の坂(32-22)
- ⑦ 走水防大への坂(80-20)
- ⑧ 三百段階段(68-5)
- ⑨ 走水神社の坂(22-3)
- ⑩ 覚栄寺の坂(11-3)
- ⑪ 走水2の坂(18-4)
- ⑫ 横須賀美術館の坂(10-6)
- ⑬ 鴨居4 観音崎の坂(18-8)
- ⑭ 第一砲台(40)
- ⑮ 第二砲台(50)
- ⑯ 第三砲台(65)
- ⑰ 公園の中の坂(57)
- ⑱ めぐね橋(50)
- ⑳ 公園の中の坂(50)
- ㉑ 三軒家砲台(35)

赤字；海と船が見える坂道

()；坂上と坂下の標高

—；坂道風土記掲載の坂



横須賀東部は、横須賀北部が谷戸が発達しているのと比較し、東京湾側は谷戸が発達していません。山でなく台地であるため谷が深くありません。もっぱら台地との間に崖が発達しています。観音崎付近は地形が入り組んでいます。観音崎には戦前には東京湾要塞の砲台があり今は公園となっています。また坂道は、昔からの集落である走水、伊勢町に町なか、丘・山との境界に位置する寺社、さらには、沿岸道路に発達しています。このため、「海と船が見える坂道」の成り立ちは横須賀北部と大きく異なります。

① 走水1 国道の坂(11-3)

国道16号線の緩やかな小さな坂道。東京湾に向かって下る。



② 走水駐車場の坂(8-2)

国道から海に向かって下る小さな坂道。近代化遺産が多数存在。



③ 走水1の坂(8-2)

写真欠

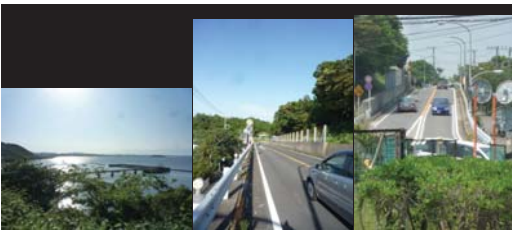
④ 走水1路地の坂(9-2)

漁村であった走水(伊勢町)部落内の路地。典型的な漁村集落。趣あり



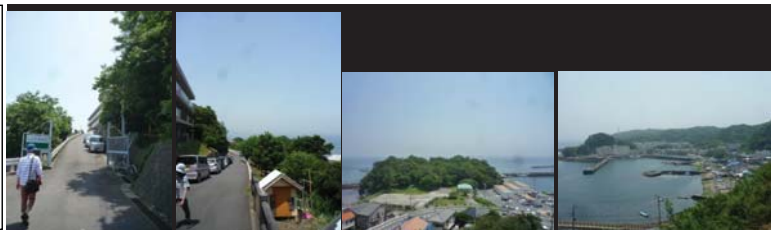
⑤ 走水2 国道の坂(20-2)

国道とともにできた坂道。約20メートルの坂上から両側に急こう配の坂が続く。馬堀海岸と夕日がきれい。



⑥ 走水2 走水荘の坂(32-22)

⑤課の坂上から分かれ老人ホームへの坂道。短い坂上での眺めは最高。



⑦ 走水防大への坂(80-20)

⑤の坂上から分かれる坂道。防衛大学に続く坂道。頂上で車道は行き止まり山道に。戦前は小原台砲台、走水高砲台への道路?眺め最高おすすめ。



⑧ 三百段階段(68-5)

⑦の坂上から、崖下の走水への階段。走水港に防衛大のポート基地があり、防大生がよく利用。海は坂下の部分で見えるのみ。戦前は走水高砲台への階段?



⑨ 走水神社の坂(22-3)

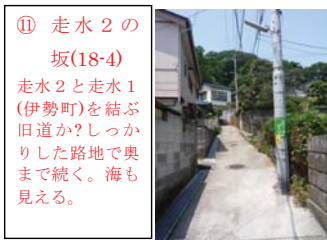
走水の部落内神社。祭神は日本武尊。部落と背後の山の境界に立地。典型的な江戸時代タイプの坂道。階段は海に向かっていているため眺めは最高。奥の院からの眺めも最高。おすすめ。





⑩ 覚栄寺の坂 (11-3)

走水にある。走水神社と同じく、部落と背後山の境界。境内から海が見える。明治28年海軍水道貯水池が作られる。近くに滝の井戸あり。



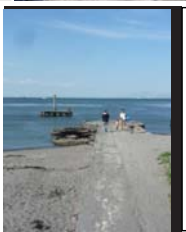
⑪ 走水2の坂(18-4)
走水2と走水1(伊勢町)を結ぶ旧道か? しっかりした路地で奥まで続く。海も見える。



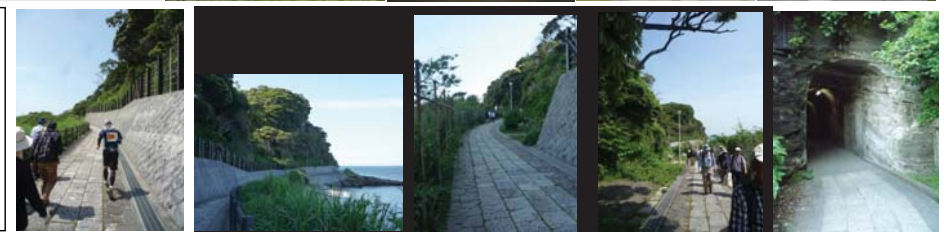
⑫ 横須賀美術館の坂 (10-6)
平成19年に開館した市立美術館。低層ガラス張りできれいだ。美術館から海に坂道が続く。おすすめの坂



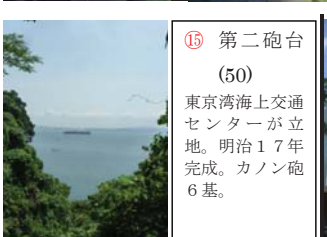
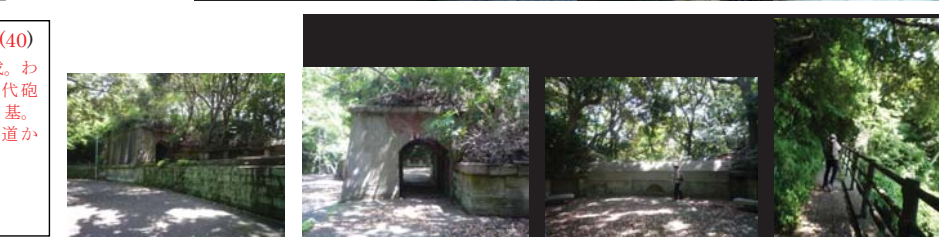
観音崎
戦前の砲台の物資搬入栈橋が残る。



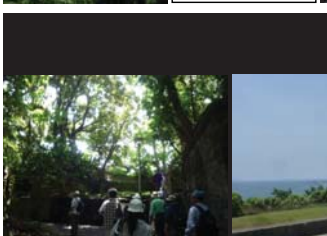
⑬ 鴨居4観音崎の坂(18-8)
観音崎から手掘りのトンネルに向けて続く坂道。素掘りのトンネルも坂道。トンネル内は地層が見える。海峡が見える。



⑭ 第一砲台(40)
明治17年完成。わが国最初の近代砲台。カノン砲2基。第2砲台への道から海が見える。



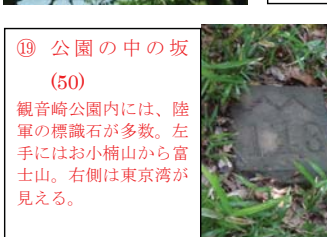
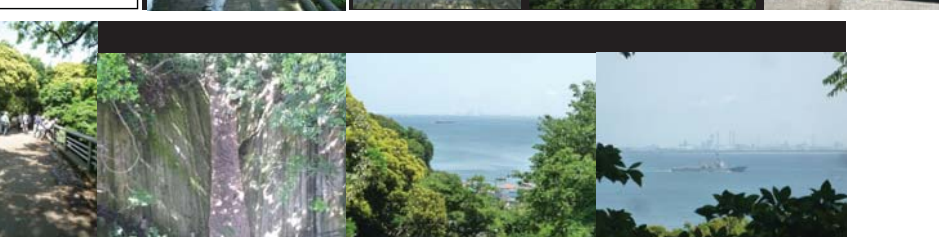
⑮ 第二砲台 (50)
東京湾海上交通センターが立地。明治17年完成。カノン砲6基。



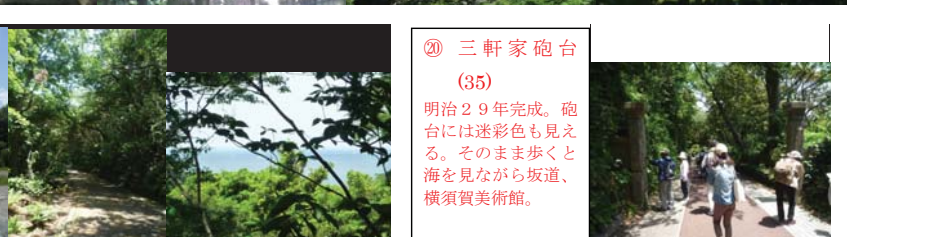
⑯ 公園の中の坂(57)
第3砲台からめがね橋への道。「大浦堡壘砲台」付近は東京湾が見える。



⑰ めがね橋(50)
高は20メートルの切り通しにかかる橋。鴨居トンネル目ができる前は切り通しが道路。東京湾や船がよく見える。



⑱ 公園の中の坂 (50)
観音崎公園内には、陸軍の標識石が多数。左手にはお小楠山から富士山。右側は東京湾が見える。



⑳ 三軒家砲台 (35)
明治29年完成。砲台には迷彩色も見える。そのまま歩くと海を見ながら坂道、横須賀美術館。



横須賀 「海と船が見える坂道」マップ⑧ (鴨居) -浦賀道に沿って-

H26.7 作成 吉田

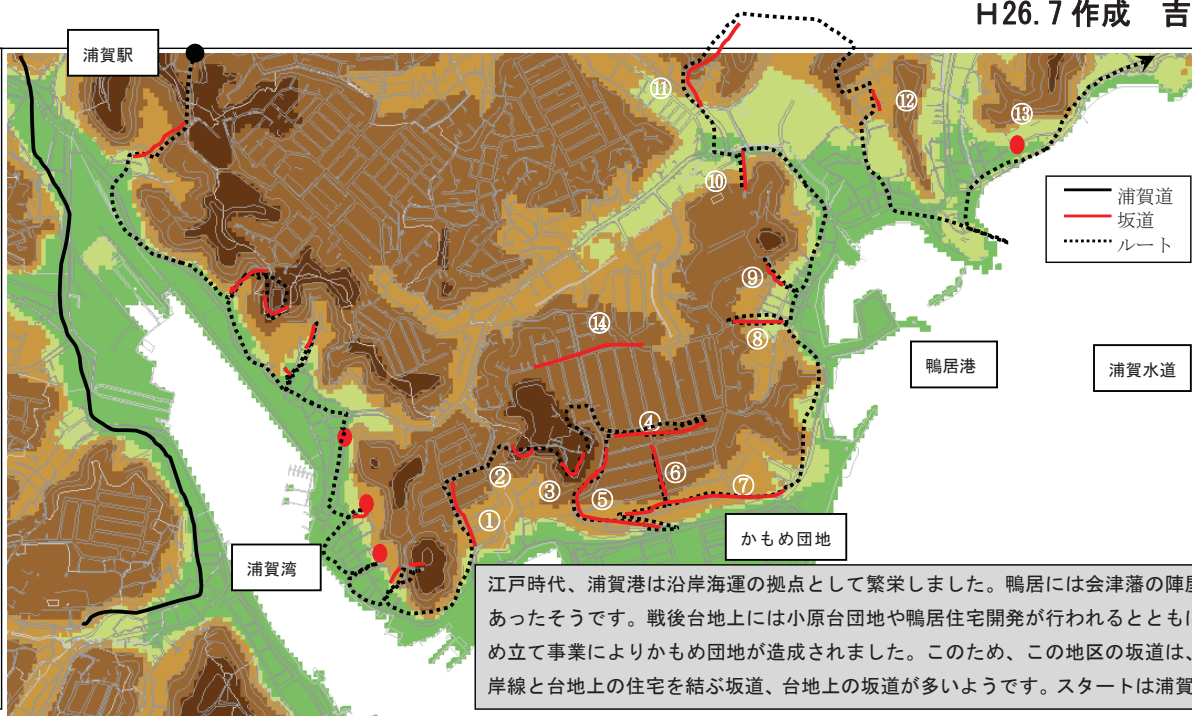
(浦賀道) に沿って

- ① 東浦賀 2 の坂(30-3)
- ② 東浦賀 2 の坂(52-28)
- ③ 鴨居 2 の坂(62-45)
- ④ 鴨居 3 の坂(40-35)
- ⑤ 鴨居 2 の大坂(40-4)
- ⑥ 鴨居 2 の坂(36-23)
- ⑦ 鴨居 2 の坂(17-5)
- ⑧ 鴨居港の坂(32-6)
- ⑨ 鴨居 2 の坂(34-11)
- ⑩ 百段階段(35-5)
- ⑪ へび坂(48-10)
- ⑫ 鴨居 3 の坂(23-13)
- ⑬ 廻船問屋
- ⑭ 鴨居 2 の坂(45-27)

赤字；海と船が見える坂道

()；坂上と坂下の標高

—；坂道風土記掲載の坂



江戸時代、浦賀港は沿岸海運の拠点として繁栄しました。鴨居には会津藩の陣屋があったそうです。戦後台地上には小原台団地や鴨居住宅開発が行われるとともに埋め立て事業によりかもめ団地が造成されました。このため、この地区の坂道は、海岸線と台地上の住宅を結ぶ坂道、台地上の坂道が多いようです。スタートは浦賀駅。

① 東浦賀 2 の坂 (30-3)

浦賀駅から浦賀湾に左側をひたすら歩くとたどり着く。最初は階段の坂道だ、団地内は直線の車道となっている。浦賀水道を臨む。おすすめ。



② 東浦賀 2 の坂 (52-28)

東浦賀 2 と鴨居 2 の団地を結ぶ坂。以前からあった坂と思われる。ただし登り始めは階段で団地開発(S40代?)で作られた?



③ 鴨居 2 の坂 (62-45)

東浦賀 2 と鴨居 2 の団地を結ぶ坂の続き。途中浦賀水道がよく見える。お勧め。コース的には逆の方がお勧め。感動的。



④ 鴨居 3 の坂 (40-35)

大住宅団地内の坂。鴨居方面の海が見えるかと思っただが見えず。



⑤ 鴨居 2 の大坂 (40-4)

かもめ団地から台地上鴨居 2 の住宅団地にかかる坂道。広い車道で、カーブも有り西浦賀の海がよく見える。お勧め。



⑥ 鴨居 2 の坂 (36-23)

鴨居 2 の住宅団地 (S30代開発?)を海に向かって下る急坂。一部かもめ団地が邪魔だが、海に突っ込む感じ。



⑦ 鴨居 2 の坂 (17-5)

鴨居 2 住宅団地海側の崖上の坂道。海の景色は良好。両側から崖下におりられるが、東側に下りる坂は景色良好。お勧め。





⑧ 鴨居港の坂 (32-6)

鴨居港の集落から背後の山に登る道。頂上部にはお墓がある。多分そのあたりが背後山との境界と思われるが、今は鴨居2の住宅団地に、鴨居港がよく見える。おすすめ。



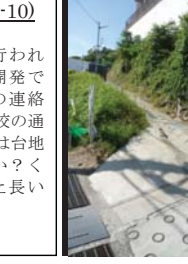
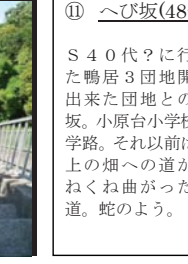
⑨ 鴨居2の坂 (34-11)

鴨居港から山に登る坂道の一つ。坂上にはS40代?に学校が建てられ今は廃校になっているが、その通学路として整備されたと思われる。途中稲荷がある。海はかすかに見える。



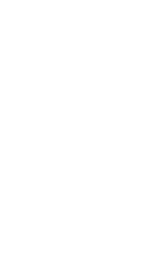
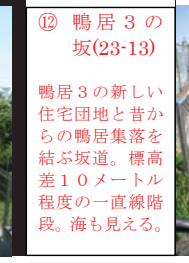
⑩ 百段階段(35-5)

⑨と同様に台地上の学校への通学階段。まっすぐに伸びる。ゆうに150段以上ある? グラウンド部活で利用されている。また学校が出来る前は畑。さらにここでは古代の集落遺跡があったが、その上に学校が建った。



⑪ へび坂(48-10)

S40代?に行われた鴨居3団地開発で出来た団地との連絡坂。小原台小学校の通学路。それ以前は台地上の畑への道か?くねくね曲がった長い道。蛇のよう。



⑫ 鴨居3の坂(23-13)

鴨居3の新しい住宅団地と昔からの鴨居集落を結ぶ坂道。標高差10メートル程度の一直線階段。海も見える。

⑬ 廻船問屋
たたら浜にある豪商の館。多々良浜と言えばクサフグの産卵地、ゴジラの上陸地点として有名。立派な石積みがある。横須賀中央の若松を埋め立てた家だとか。



⑭ 鴨居2の坂 (45-27)

コースから外れているが、彼方に海とフルが見える坂道。おすすめ。



横須賀「海と船が見える坂道」マップ⑨（浦賀ー北久里浜）東浦賀

-浦賀道に沿って- H26.7 作成 吉田

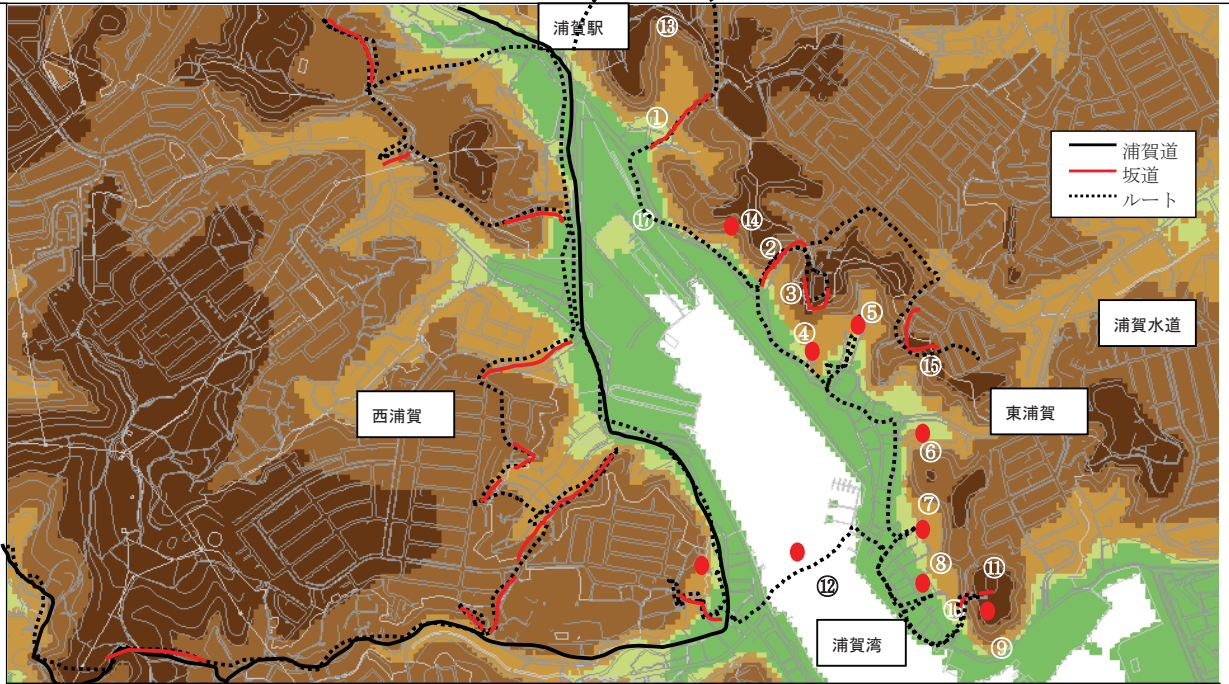
(浦賀道) に沿って

- ① 東浦賀1の坂(51-2)
- ② 東浦賀1の坂(45-3)
- ③ 二葉2の坂(56-45)
- ④ 津守稲荷神社の坂(12-4)
- ⑤ 八雲神社の坂(15-6)
- ⑥ 東羅稲荷の坂(6-3)
- ⑦ 東林寺の坂(13-3)
- ⑧ 法隆寺の坂(11-3)
- ⑨ 叶神社の坂(10-3)
- ⑩ 恵仁志坂(28-10)
- ⑪ 産霊坂(55-28)
- ⑫ 浦賀の渡し
- ⑬ 浦賀1の坂(45-15)
- ⑭ 船守稲荷神社(11-3)
- ⑮ 二葉2の坂(50-23)

赤字；海と船が見える坂道

()；坂上と坂下の標高

—；坂道風土記掲載の坂



浦賀は、江戸時代より、外国との貿易、鎖国後は沿岸海運の江戸への入口港、検査港、干鰯の物流港、奉行所も置かれ国防の拠点として栄えました。明治以降は造船所が立地し浦賀の発展を支えました。住宅は、海岸沿い、谷戸に立地し、戦後は以後の台地に住宅開発で住宅が立地し坂道が発達します。その他の坂道は、町と背後台地の境界にある湊町時代からの寺社の坂道です。マップ⑩とセット。

⑬ 浦賀1の坂 (45-15)

マップ⑥ 坂番号⑬再掲。
浦賀駅から浦上台に向かう坂道。階段で一気に30メートル降りる。足がすくんで怖い階段。でも住民防大生は利用。



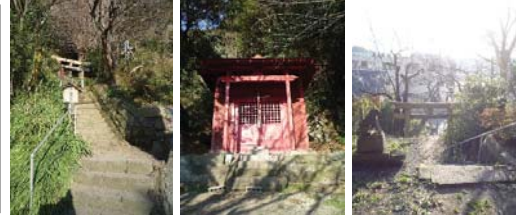
① 東浦賀1の坂 (51-2)

二葉2の住宅団地と造船所を結ぶ坂道。周辺は造船所のグラウンドや体育館。階段は一气におりる。



⑭ 船守稲荷神社 (11-3)

浦賀には、船守稲荷と津守稲荷がある。湊町である。坂上からは裏が湾が見える。江戸期？近世型坂道。



② 東浦賀1の坂 (45-3)

造船所と二葉2の台地上住宅団地(s30代)を結ぶ坂道。急な階段で一気に40m。浦賀湾も見える。お勧め。



③ 二葉2の坂 (56-45)

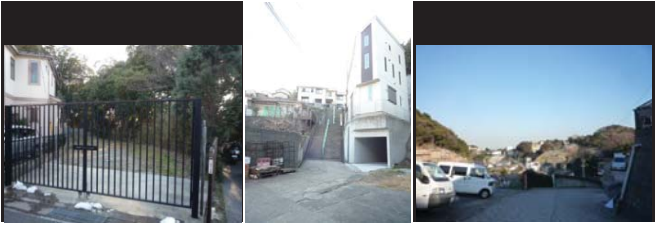
②の坂に続く坂道。積雪時スリップ止めもある急勾配。坂の両側に住宅。浦賀湾もよく見える。おすすめ。





⑮ 二葉2の坂(50-23)

二葉2の住宅地は大きい。幾何学的な道路。その他でさらに山に登る住宅地が有りその坂道。地図上では、崖下の乗誓寺におりる道があるが門が有りおりられず。鴨居方面に視界開ける。



④ 津守稲荷神社の坂(12-4)

湊を守る稲荷。1826創建とのこと。階段を上り境内からは浦賀湾がよく見える。近世型坂道。



⑤ 八雲神社の坂(15-6)

江戸時代は修験の寺、明治期廃仏棄却で神社に。確かにお寺のよう。本堂には流の鏡絵(こてえ)がある。また、近くには、ワインが詳しい酒屋みやまさ。坂上からの浦賀湾が見える。近世型坂道。



⑥ 東羅稲荷の坂(6-3)

小さい割には立派な稲荷。ソテツも立派、浦賀湾は見えない。

⑦ 東林寺の坂(13-3)

欠

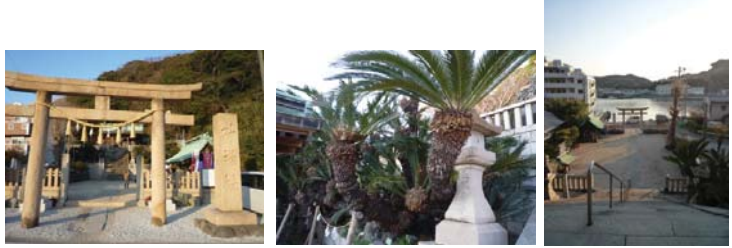
⑧ 法幢寺の坂(11-3)

叶神社近く。本堂には鏡絵(こてえ)有り。本堂から一直線に浦賀湾が。夕日きれい。近世型坂道。おすすめ。



⑨ 叶神社の坂(10-3)

東叶神社として有名。ソテツがきれい。本堂から鳥居をみて浦賀湾。お勧めの坂道。近世型坂道。おすすめ。



⑩ 恵仁志坂(28-10)

叶神社本堂左側にある。坂の石柱有り。坂上から浦賀湾が見える。⑨⑩で1セット。近世型坂道。おすすめ。



⑪ 産霊坂(55-28)

⑩恵仁志坂をさらに登る坂道。よみは「うぶすな」。坂上は浦賀城あと。戦国時代の城。さすが浦賀湾や海がよく見える。近世型坂道。おすすめ。



⑫ 浦賀の渡し

市営の渡し。道路の一部として運営。ベルを鳴らすと対岸からやってくる。さっと乗り込んで対岸へ。



横須賀「海と船が見える坂道」マップ⑩（浦賀-北久里浜）西浦賀

浦賀道に沿って-H26.7作成 吉田

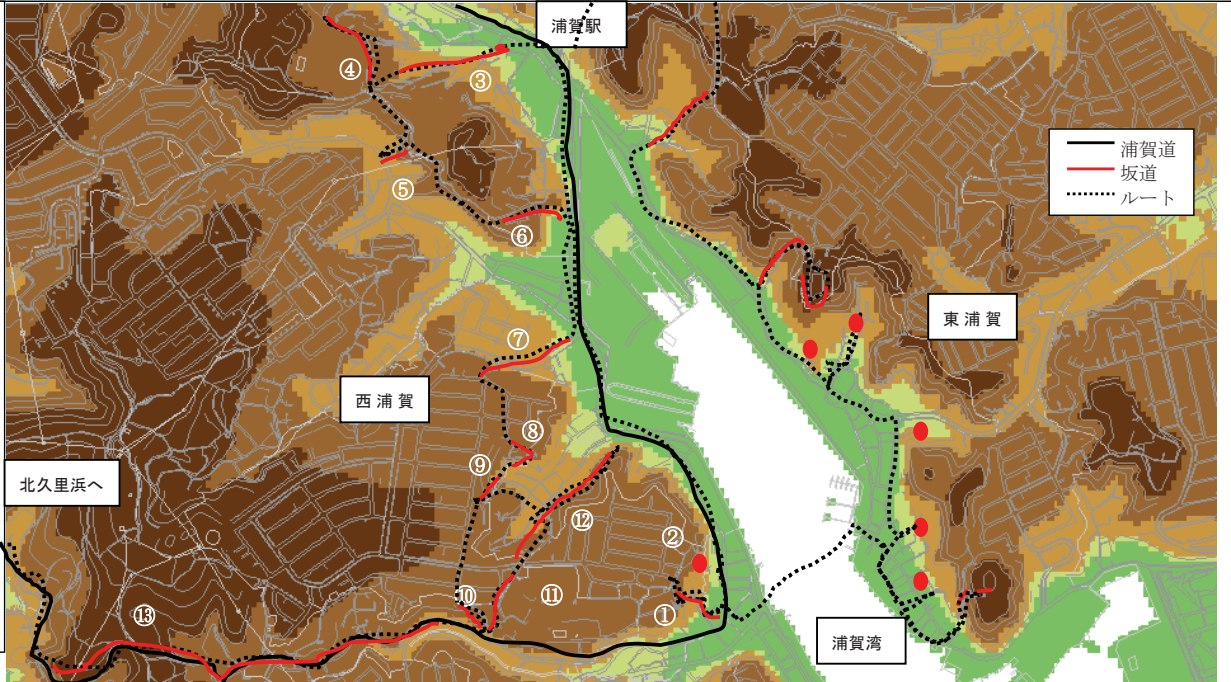
(浦賀道)に沿って

- ① 東福寺の坂(47-2)
- ② 叶神社の坂(8-3)
- ③ 浦賀3の坂(40-3)
- ④ 浦賀3の坂(40-12)
- ⑤ 浦賀中の階段(35-12)
- ⑥ 浦賀3の坂(45-2)
- ⑦ 浦賀丘2の坂(41-3)
- ⑧ 浦賀丘2の坂(41-21)
- ⑨ 浦賀丘2の坂(44-21)
- ⑩ 西浦賀3の坂(46-26)
- ⑪ 西浦賀3の坂(46-20)
- ⑫ 浦賀7の坂(46-3)
- ⑬ 御林の坂(63-20)
- ⑭

赤字；海と船が見える坂道

()；坂上と坂下の標高

—；坂道風土記掲載の坂



浦賀は、江戸時代より、外国との貿易、鎖国後は沿岸海運の江戸への入口港、検査港、干鰯の物流港、奉行所も置かれ国防の拠点として栄えました。明治以降は造船所が立地し浦賀の発展を支えました。住宅は、海岸沿い、谷戸に立地し、戦後背後の台地に住宅開発で住宅が立地し坂道が発達します。その他の坂道は、町と背後台地の境界にある湊町時代からの寺社の坂道です。マップ⑨とセット。

⑨の続きで渡りに乗るところから。
昔ながらの建物、カクウチ、そして綿の栽培。



① 東福寺の坂(47-2)
このお寺本堂までの階段とそこから左に曲がりお墓周辺を登る坂道から構成。どちらも坂の途中、坂上から海と船がよく見える。坂上は浦賀丘3の住宅地。超おすすめ。



② 叶神社の坂(8-3)
西叶神社。海辺から神社が見える、かつ神社から鳥居通して浦賀湾が。お勧め。残念なことに写真の廻船倉庫が取り壊される。



③ 浦賀3の坂(40-3)
浦賀駅に戻り、浦賀中学に登る坂道。車は無理。坂上からは東京湾と猿島が見える。



④ 浦賀3の坂(40-12)
矢ノ津坂から浦賀中学に上る車道。台地上の開発により出来る。矢ノ津坂と東京湾・猿島が見える。



⑤ 浦賀中の階段(35-12)
浦賀5月浦賀中学に通うための坂道。20m以上をまっすぐな階段で上る。





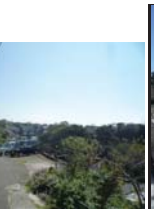
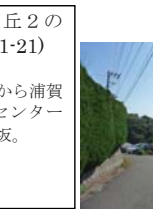
⑥ 浦賀3の坂 (45-2)

浦賀中学から、尾根道、住宅を通り造船所に向かう坂道。急な坂道、浦賀湾奥部が見える。おすすめ。



⑦ 浦賀丘2の坂 (41-3)

造船所から浦賀丘2に登る坂道。かすかに浦賀湾が見える。



⑧ 浦賀丘2の坂(41-21)

浦賀丘2から浦賀7、行政センターに向かう坂道。

⑨ 浦賀丘2の坂(44-21)

まっすぐに浦賀丘2から行政センター、造船所に向かう階段。



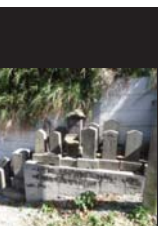
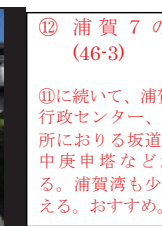
⑩ 西浦賀3の坂(46-26)

浦賀丘2から西浦賀3、浦賀道に向かう坂道。以前は台地上の畑への道か？



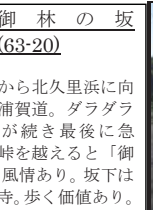
⑪ 西浦賀3の坂(46-20)

西浦賀から山を越えて浦賀7造船所に向かう坂道。台地上の住宅開発前からの坂道と思われる。



⑫ 浦賀7の坂 (46-3)

⑪に続いて、浦賀7、行政センター、造船所に向かう坂道。途中庚申塔などがある。浦賀湾も少し見える。おすすめ。



⑬ 御林の坂 (63-20)

浦賀から北久里浜に向かう浦賀道。ダラダラ登坂が続き最後に急坂。峠を越えると「御林」。風情あり。坂下は真福寺。歩く価値あり。

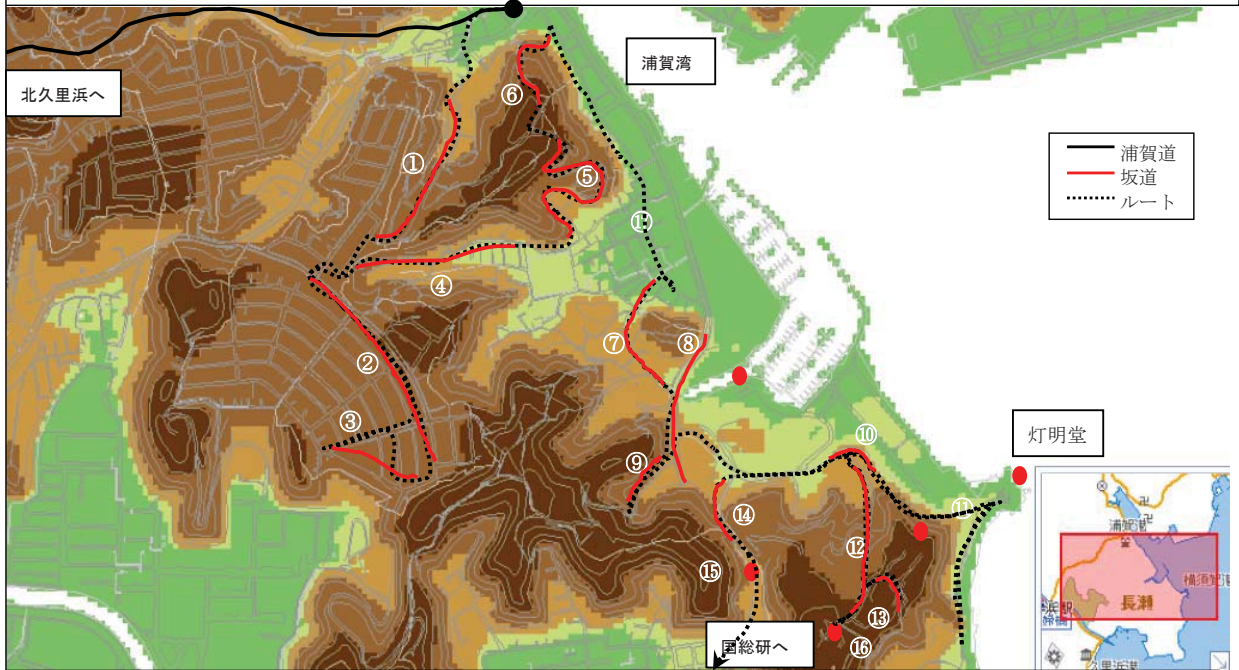


横須賀「海と船が見える坂道」マップ⑪ (西浦賀-川間)

浦賀道に沿って-H26.7作成 吉田

(浦賀道)に沿って

- ① 西浦賀2の坂(47-4)
- ② 久里浜台2の坂(45-37)
- ③ 久里浜台2の坂(50-33)
- ④ 西浦賀5の坂(43-5)
- ⑤ 西浦賀5の新坂(60-5)
- ⑥ 愛宕山の坂(60-3)
- ⑦ 軍道の坂(15-2)
- ⑧ 西浦賀4県道の坂(13-3)
- ⑨ 西浦賀5の坂(56-14)
- ⑩ 灯明堂への道の坂(13-6)
- ⑪ 灯明堂
- ⑫ 西浦賀6の坂(60-12)
- ⑬ 西浦賀6の坂(60-50)
- ⑭ 長瀬トンネルの坂(20-7)
- ⑮ 長瀬トンネル
- ⑯ 千代ヶ崎砲台



赤字；海と船が見える坂道

()；坂上と坂下の標高

—；坂道風土記掲載の坂

西浦賀から川間、灯明堂に向かっては地形が入り組んでいます。坂道については、住宅開発によるもの、旧来からのもの、軍事施設のためのものいろいろあります。場所的には国総研に近くなっています。坂も東京湾に近くなり見通しのよい坂となっています。渡しから出発して最後国総研の方向に行ってみましょう。

① 西浦賀2の坂(47-4)

渡し近くの浦賀道から分かれて南浦賀の台地上の住宅地に着きます。浦賀湾奥部が坂上から見えます。おすすめ。



② 久里浜台2の坂(45-37)

S40代?に作られた久里浜台2重宅地内の坂道です。



③ 久里浜台2の坂(50-33)

久里浜台2の坂道で、眼下に久里浜の陸自駐屯地、通信学校が見えます。



④ 西浦賀5の坂(43-5)

久里浜台住宅地から浦賀奉行諸あとを通り浦賀湾にいたる坂道です。浦賀湾もよく見え、快適な坂道です。おすすめ。



⑤ 西浦賀5の新坂(60-5)

西浦賀に10年くらい前に出来た住宅へ至る坂道です。坂下から坂上の道が見えます。また途中から東京湾、浦賀湾がよく見えます。宅地開発には少し考えるところがありますが、最高の坂道です。おすすめ。





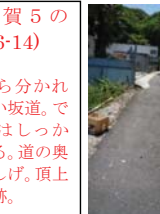
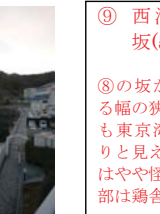
⑥ 愛宕山の坂 (60-3)
 明治 24 年横須賀で最初の公園です。浦賀湾、投棄を右腕がよく見える坂道です。おすすめ。



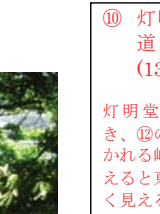
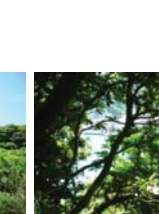
⑦ 軍道の坂 (15-2)
 陸軍による物資輸送のため造られ坂道。古い石垣も有り。浦賀湾が少し見える。



⑧ 西浦賀 4 県道の坂 (13-3)
 川間トンネルから、川間マリーナを通り浦賀湾に至る坂道。煉瓦ドックも残っている。



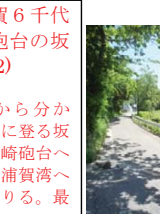
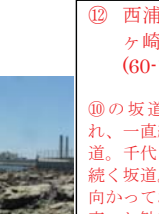
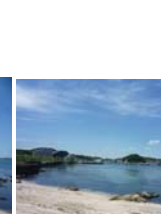
⑨ 西浦賀 5 の坂 (56-14)
 ⑧の坂から分かれる幅の狭い坂道。でも東京湾はしっかりと見える。道の奥はやや怪しげ。頂上部は鶏舎跡。



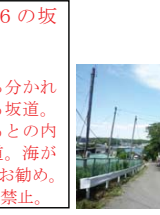
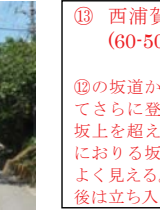
⑩ 灯明堂への道の坂 (13-6)
 灯明堂に至るとき、⑩の坂道が分かれる峠。坂を越えると東京湾が広く見える。



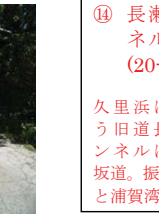
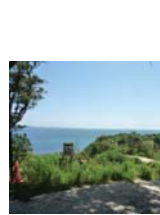
⑪ 灯明堂
 灯明堂の砂浜からは川間の造船所跡、浦賀湾、東京湾、長瀬がよく見える。是非行ってみてください。



⑫ 西浦賀 6 千代ヶ崎砲台の坂 (60-12)
 ⑩の坂道から分かれ、一直線に登る坂道。千代ヶ崎砲台へ続く坂道。浦賀湾へ向かっており。最高。お勧め。



⑬ 西浦賀 6 の坂 (60-50)
 ⑫の坂道から分かれてさらに登る坂道。坂上を超えるとの内におりる坂道。海がよく見える。お勧め。後は立ち入り禁止。



⑭ 長瀬トンネルの坂 (20-7)
 久里浜に向かう旧道長瀬トンネルに続く坂道。振り返ると浦賀湾。

⑮ 長瀬トンネル
 昭和 5 年。このトンネルを越えると、国総研。



⑯ 千代ヶ崎砲台
 ⑫の坂道を登り切り通しを越えると千代ヶ崎砲台。重要な文化財だとか。

